

総合科目（1年次生～5年次生）

(1) 学内・学外早期体験実習	(1年)	9
(2) 学内・学外早期体験実習	(1年)	11
(3) 歯学展望	(1年)	13
(4) コミュニティー教育・実習	(3年)	16
(5) 歯科東洋医学	(3年)	18
(6) Scientific and Practical English	(3年)	20
(7) 歯科医師のコンピテンシー I	(1年)	22
(8) 歯科医師のコンピテンシー II	(2年)	24
(9) 歯科医師のコンピテンシー III	(3年)	26
(10) 歯科医師のコンピテンシー IV	(4年)	28
(11) 歯科医師のコンピテンシー V	(5年)	30

年度 2017 学期 前期 1Q	曜日・校時 火・I～II(一部III～IV)	必修選択 必修	単位数 (5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 第2講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類	総合科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院8階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバス科目等)	渡邊郁哉、齋藤俊行、吉田教明、藤原 卓、山田志津香、原 宜興、澤瀬 隆、村田比呂司、梅田正博、朝比奈泉、中村 卓、鮎瀬卓郎、角 忠輝		
授業の概要及び位置づけ 歯学部臨床分野の様子を早期に見学し、今後の講義・実習への学習意欲を高める。			
授業到達目標 医療職として必要な態度を涵養する 大学病院の歯科臨床(歯科診療部門)の実情を理解する。 関連コアカリ A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) A-9-1) 生涯学習への準備			
授業方法(学習指導法) 臨床歯学分野を見学を中心にローテートする。			
授業内容 1回目 オリエンテーション, 総合歯科臨床教育(口腔検診) 2回目 旧第1保存科, 旧第2保存科 3回目 旧歯科麻酔科 旧歯科放射線科 4回目 旧矯正歯科, 旧小児歯科 5回目 旧第1補綴科, 旧第2補綴科 6回目 旧第2口腔外科 旧第1口腔外科 7回目 未定 8回目 まとめ			
キーワード	歯科部門, 早期体験		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	レポートにより評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。		
備考(学生へのメッセージ)	第1回目は、説明と患者体験実習として6年生による口腔検診を受ける。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	11	火	I～II	オリエンテーション, 総合歯科臨床教育(口腔検診)	各教員	第2講義室
2回	4	18	火	I～II	旧第1保存科, 旧第2保存科	各教員	第2講義室
3回	4	25	火	I～II	旧歯科麻酔科 旧歯科放射線科	各教員	第2講義室
4回	5	9	火	I～II	旧矯正歯科, 旧小児歯科	各教員	第2講義室
5回	5	16	火	I～II	旧第1補綴科, 旧第2補綴科	各教員	第2講義室
6回	5	23	火	I～II	旧第2口腔外科 旧第1口腔外科	各教員	第2講義室
7回	5	30	火	I～II	未定	未定	第2講義室
8回	6	6	火	I～II	まとめ		第2講義室

※シラバス作成時には、予定は決定していないのでオリエンテーション時に最終予定を通知する。

年度 2017 学期 後期	曜日・校時 火・I～IV	必修選択 必修	単位数 (5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類	総合科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/ 学生 12～13名に1名の教員をチューターとして配属しているため、実習期間中は連絡を密にとること。			
担当教員(オムニバス科目等)	木村泰男 他 歯学部教員, 大学病院教職員 田中晃伸(非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ 専門的知識の乏しい1年次に地域歯科医療の最前線である開業歯科医院および病院歯科等へ出向き、先入観のない視点から歯科医療を見つめ、今後の専門教育への動機付けとする。 また歯科と連携を図らなければならない多職種(看護師、栄養士、作業療法士など)の業務を体験、理解する。			
授業到達目標 社会的に歯科医師に求められているものを議論できる 各自の将来の歯科医師像を想像することができる 患者中心の多職種連携を体感する。 医療職として必要な態度を涵養する 主な対応コアカリ A-1-2) 患者中心の視点, A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権, A-4-1) コミュニケーション, A-4-2) 患者と歯科医師の関係 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明できる。③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。			
授業方法(学習指導法) 受け入れ歯科医院へ学生が出向き、指定の時間を診療室での見学を行い、診療設備、歯科医師-患者-スタッフ間でのコミュニケーションの重要性を観察する。また、長崎市の歯科医療の実態や歯科以外のコメディカル・コデンタルの業務を見聞する。			
授業内容 1回目 オリエンテーション1 2回目 オリエンテーション2 3回目 オリエンテーション3 4回目 学外実習1 5回目 学外実習2 6回目 多職種による講義1 7回目 グループ討論と発表会 8回目 学外実習3 9回目 学外実習4 10回目 学外実習5 11回目 グループ討論と発表会 12回目 多職種による講義2 13回目 未定 14回目 本実習に関する感想を全員が発表する。 15回目 まとめ			
キーワード	臨床現場、多職種連携、歯科医師像		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	事前・事後レポート、最後の発表会も内容及び最終報告レポートを加味して評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。 特に1回目のオリエンテーションを受けてない学生は学外実習には参加させない。		
備考(学生へのメッセージ)	学研に必ず加入すること。 長崎県歯科医師会や大学病院看護部等の全面的な後援のもとに実施可能となっているので、配属先の歯科医院および病院に失礼のないように十分注意する。(挨拶、態度、時間厳守)		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	3	火	I～IV	オリエンテーション1	教務委員長、 木村	第1講義室
2回	10	10	火	I～IV	オリエンテーション2	木村、 非常勤講師	第1講義室
3回	10	17	火	I～IV	オリエンテーション3	木村、 非常勤講師、 各チューター	第1講義室
4回	10	24	火	I～IV	学外実習1	木村	各実習先
5回	10	31	火	I～IV	学外実習2	木村	各実習先
6回	11	7	火	I～IV	歯科衛生士について 歯科技工士について 薬剤師について	平尾 直美 福井 淳一 薬剤部	未定
7回	11	14	火	I～IV	グループ討論と発表会	木村	第1講義室
8回	11	21	火	I～IV	学外実習3	木村	各実習先
9回	11	28	火	I～IV	学外実習4	木村	各実習先
10回	12	5	火	I～IV	学外実習5	木村	各実習先
11回	12	12	火	I～IV	グループ討論と発表会	木村	第1講義室
12回	12	19	火	I～IV	院内感染について 医療安全管理について メディカルライブバランスについて	未定	第1講義室
13回	12	26	火	I～IV	未定	未定	第1講義室
14回	1	9	火	I～IV	本実習に関する感想を全員が発表する。	木村、 各チューター	第1講義室
15回	1	16	火	I～IV	まとめ	教務委員長	第1講義室

年度 2017 学期 通年	曜日・校時 前期:月・I 後期:月・II (一部火・II)	必修選択 必修	単位数 2																																
科目番号	25064403																																		
科目ナンバリング・コード	DNGD11021098																																		
授業科目名/(英語名)	歯学展望/(Dental Outlook)																																		
対象年次 1年次	講義形態 講義形式	教室 第2講義室																																	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。																																			
担当教員(オムニバス科目等)	真鍋義孝、小守壽文、中村渉、根本孝幸、藤田修一、内藤真理子、筑波隆幸、白石孝信、伊藤公成、中留真人、齋藤俊行、吉田教明、藤原卓、山田志津香、吉村篤利、澤瀬隆、村田比呂司、鳴瀬智史、朝比奈泉、中村 卓、鮎瀬卓郎、久松徳子、鮎瀬てるみ、小山善哉、河野哲也(学内非常勤講師)、若菜啓孝(学内非常勤講師)、永田康浩(学内非常勤講師)、夏目長門(学外非常勤講師)																																		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師になるため、これから6年間学ぶ歯学教育・研究の専門的内容を分かりやすく説明し、歯学生としての自覚を養う。																																			
授業到達目標 ・歯学教育・研究の基本的な概要を理解する。 ・基礎及び臨床科目の基本的な内容を説明できる。																																			
授業方法(学習指導法) 歯学教育・研究・臨床に関する主要テーマについて、主に歯学部の教員によるオムニバス方式の講義を行う。																																			
授業内容 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">(前期)</td> <td style="vertical-align: top;">(後期)</td> </tr> <tr> <td>1回目 総合科目「歯学展望」について</td> <td>1回目 予防歯科と全身の健康</td> </tr> <tr> <td>2回目 タバコ学事始め</td> <td>2回目 矯正歯科の未来</td> </tr> <tr> <td>3回目 学生ポートフォリオ①</td> <td>3回目 齲蝕治療-今昔物語-</td> </tr> <tr> <td>4回目 学生ポートフォリオ②</td> <td>4回目 歯周疾患と治療</td> </tr> <tr> <td>5回目 小児の歯科診療</td> <td>5回目 人工物で作る歯</td> </tr> <tr> <td>6回目 病気の形態</td> <td>6回目 歯科補綴学と健康長寿</td> </tr> <tr> <td>7回目 骨格形成</td> <td>7回目 再生歯科医療</td> </tr> <tr> <td>8回目 生体リズムの生理学</td> <td>8回目 骨の「きず」の治療</td> </tr> <tr> <td>9回目 タンパク質の一生</td> <td>9回目 X線診断</td> </tr> <tr> <td>10回目 解剖学と人類学</td> <td>10回目 海外医療援助</td> </tr> <tr> <td>11回目 口腔細菌の意義</td> <td>11回目 歯科医療と全身管理</td> </tr> <tr> <td>12回目 歯科薬理</td> <td>12回目 摂食嚥下リハビリテーション</td> </tr> <tr> <td>13回目 生体材料と歯科材料</td> <td>13回目 障害者の歯科診療</td> </tr> <tr> <td>14回目 「がん」をどのように研究するか</td> <td>14回目 地域連携医療の中で歯科に求められること</td> </tr> <tr> <td>15回目 歯科法医学の世界</td> <td>15回目 福島県相双地域における医療協力活動</td> </tr> </table>				(前期)	(後期)	1回目 総合科目「歯学展望」について	1回目 予防歯科と全身の健康	2回目 タバコ学事始め	2回目 矯正歯科の未来	3回目 学生ポートフォリオ①	3回目 齲蝕治療-今昔物語-	4回目 学生ポートフォリオ②	4回目 歯周疾患と治療	5回目 小児の歯科診療	5回目 人工物で作る歯	6回目 病気の形態	6回目 歯科補綴学と健康長寿	7回目 骨格形成	7回目 再生歯科医療	8回目 生体リズムの生理学	8回目 骨の「きず」の治療	9回目 タンパク質の一生	9回目 X線診断	10回目 解剖学と人類学	10回目 海外医療援助	11回目 口腔細菌の意義	11回目 歯科医療と全身管理	12回目 歯科薬理	12回目 摂食嚥下リハビリテーション	13回目 生体材料と歯科材料	13回目 障害者の歯科診療	14回目 「がん」をどのように研究するか	14回目 地域連携医療の中で歯科に求められること	15回目 歯科法医学の世界	15回目 福島県相双地域における医療協力活動
(前期)	(後期)																																		
1回目 総合科目「歯学展望」について	1回目 予防歯科と全身の健康																																		
2回目 タバコ学事始め	2回目 矯正歯科の未来																																		
3回目 学生ポートフォリオ①	3回目 齲蝕治療-今昔物語-																																		
4回目 学生ポートフォリオ②	4回目 歯周疾患と治療																																		
5回目 小児の歯科診療	5回目 人工物で作る歯																																		
6回目 病気の形態	6回目 歯科補綴学と健康長寿																																		
7回目 骨格形成	7回目 再生歯科医療																																		
8回目 生体リズムの生理学	8回目 骨の「きず」の治療																																		
9回目 タンパク質の一生	9回目 X線診断																																		
10回目 解剖学と人類学	10回目 海外医療援助																																		
11回目 口腔細菌の意義	11回目 歯科医療と全身管理																																		
12回目 歯科薬理	12回目 摂食嚥下リハビリテーション																																		
13回目 生体材料と歯科材料	13回目 障害者の歯科診療																																		
14回目 「がん」をどのように研究するか	14回目 地域連携医療の中で歯科に求められること																																		
15回目 歯科法医学の世界	15回目 福島県相双地域における医療協力活動																																		
キーワード																																			
教科書・教材・参考書	なし																																		
成績評価の方法・基準等	前期・後期の定期試験期間中に求める講義内容に関するレポートで評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。																																		
受講要件(履修条件)	全体を通じて総授業数の2/3以上の出席が求められる。																																		
備考(学生へのメッセージ)	歯学部に入学生した、将来歯科医師になる歯学生としての自覚を養ってほしい。 卒業後、国民に有益・有用な歯科医師となるよう入学時から真摯な態度で学習してほしい。																																		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	10	月	I	総合科目「歯学展望」について	澤瀬 隆	第2講義室
2回	4	17	月	I	タバコ学事始め	河野哲也 (学内非常勤講師)	第2講義室
3回	4	24	月	I	学生ポートフォリオ① 概要説明	若菜啓孝 (学内非常勤講師)	第2講義室
4回	5	1	月	I	学生ポートフォリオ② 操作説明及び入力	藤原 卓	第2講義室
5回	5	8	月	I	小児の歯科診療 小児と成人の違い、小児歯科とは	藤原 卓	第2講義室
6回	5	15	月	I	病気の形態 がんはどのように診断されるか	藤田修一	第2講義室
7回	5	22	月	I	骨格形成 骨格形成の分子機構を骨芽細胞と軟骨細胞の分化機構より概説する。	小守壽文	第2講義室
8回	5	29	月	I	生体リズムの生理学 生体リズムを制御する体内時計の神経回路と生理学的意義について概説する。	中村渉	第2講義室
9回	6	5	月	I	タンパク質の一生 「タンパク質の高次構造はその一次構造で決まる。」アンフィゼンは、この発見で1972年のノーベル化学賞を受賞した。しかし、今日話はそう単純ではない。タンパク質が生まれてから消失するまでを俯瞰する。	根本孝幸	第2講義室
10回	6	12	月	I	解剖学と人類学 人体解剖学と形質人類学	真鍋義孝	第2講義室
11回	6	19	月	I	口腔細菌の意義 口腔常在菌の役割、口腔細菌と疾患	内藤真理子	第2講義室
12回	6	26	月	I	歯科薬理 薬理学とはどのような学問か	筑波隆幸	第2講義室
13回	7	3	月	I	生体材料と歯科材料 歯科医療に果たす歯科材料の役割	白石孝信	第2講義室
14回	7	10	月	I	「がん」をどのように研究するか 「がん遺伝子」「がん抑制遺伝子」の機能解析について	伊藤公成	第2講義室
15回	7	24	月	I	歯科法医学の世界 身元確認に携わる警察歯科活動の実際	中留真人	第2講義室

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	月	II	予防歯科と全身の健康 全身の健康につながる歯科保健、う蝕と歯周病の予防	齋藤俊行	第2講義室
2回	10	16	月	II	矯正歯科の未来 美と機能のトータルなハーモニーを生み出す矯正治療	吉田教明	第2講義室
3回	10	23	月	II	齶蝕治療－今昔物語－ 虫歯治療の歴史、削る治療から削らない治療へ	山田志津香	第2講義室
4回	10	30	月	II	歯周疾患と治療 歯周疾患とは？現状と未来	吉村篤利	第2講義室
5回	11	6	月	II	人工物で作る歯 人工物による歯質・歯牙欠損の修復・回復	澤瀬 隆	第2講義室
6回	11	13	月	II	歯科補綴学と健康長寿 有床義歯の役割	村田比呂司	第2講義室
7回	11	20	月	II	再生歯科医療 歯科における再生医療の現状と未来	朝比奈泉	第2講義室
8回	11	27	月	II	骨の「きず」の治り 様々な病気と治療、骨の治療	鳴瀬智史	第2講義室
9回	12	4	月	II	X線診断 顎顔面領域の画像診断	中村 卓	第2講義室
10回	12	11	月	II	海外医療援助～ベトナム・ラオス・モンゴルなど～	夏目長門 (学外非常勤 講師)	第2講義室
11回	12	18	月	II	歯科医療と全身管理 高齢化社会と全身疾患、歯科治療	鮎瀬卓郎	第2講義室
12回	12	25	月	II	摂食嚥下リハビリテーション	久松徳子	第2講義室
13回	1	15	月	II	障害者の歯科診療	鮎瀬てるみ	第2講義室
14回	1	22	月	II	地域連携医療の中で歯科に求められること	永田康浩 (学内非常勤 講師)	第2講義室
15回	1	23	火	II	福島県相双地域における医療協力活動	小山善哉	第2講義室

年度 2017 学期 前期	曜日・校時 金・Ⅱ(またはⅡ～Ⅲ)	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064408		
科目ナンバリング・コード	DNGD11041098		
授業科目名/(英語名)	コミュニティー教育・実習/(Community education・practice)		
対象年次 3年次	講義形態	講義形式	教室 第1講義室
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8 階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバス科目等)	非常勤講師(岡 幸江、長野真基子、山口和浩、片山健太、片山薫子)		
授業の概要及び位置づけ			
本授業が提案するのは現代において分断された仕事と価値意識を「つなぐ」知であり、それによる「全体的視野の獲得」です。それを通して、医師中心のしごと観を患者や社会にとって意味あるしごと観へ転換していく一助となればと願っています。			
授業到達目標			
「コミュニティー」をキーワードとする本講義が目的とするのは、こうした「相対化のための知」に出会うこと、あるいはそれを自分なりの文脈において獲得することです。そのことを通して、将来歯科医師・歯科研究者あるいは一市民として「生きていく」「実践していく」にあたって力になる「知との向き合い方」を全体的に学んでいただけたらと思っています。そのためにその先にあなた自身の「歯科医師として生きる」ビジョンを構築していただけたらと思います。			
授業方法(学習指導法)			
本講義では、みなさん自身の日々の生活のなかから「暮らしのまなざし」や暮らしをなりたせる「関わりまなざし」をほりおこしていくことからスタートします。そのうえで、実社会において困難をかかえる人・困難をかかえる地域とむきあうとくみ、こうした「実践」の底に流れる「もうひとつの知」について提示しつつ、私たちはいま何をみつめるべきなのか、そしてその延長上で一緒にこの社会におけるしごとのありかたを考えてみましょう。			
授業内容			
第1回目 5月12日 2時限目:オリエンテーション 一人・地域に向き合うということ(担当:岡 幸江)			
第2回目 5月12日 3時限目:暮らしと関わりへのまなざしをめぐって(担当:岡)			
第3回目 5月19日 2時限目:地域に新たな共同をひらく(担当:岡)			
第4回目 5月19日 3時限目:対人援助とコミュニケーション(担当:長野)			
第5回目 5月26日 2時限目:生と死に向き合う (担当:山口和浩(NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表))			
第6回目 6月 2日 3時限目:「かっちえて」という場と子どもたち(担当:片山健太、薫子(自然と暮らしの学校「手つなぐ」))			
第7回目 6月 9日 2時限目:「手つなぐ」と私たちの新たな働き方(担当:片山健太、薫子)			
第8回目 6月 9日 3時限目:今期のまとめ 一個々の暮らしとしごとを「つなぐ」知をめざして(担当:岡)			
キーワード	実践における「もうひとつの知」		
教科書・教材・参考書	教科書 なし		
成績評価の方法・基準等	出席、レポートで評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	12	金	Ⅱ	オリエンテーション 一人・地域に向き合うということ	岡	第1講義室
2回	5	12	金	Ⅲ	暮らしと関わりへのまなざしをめぐって	岡	第1講義室
3回	5	19	金	Ⅱ	地域に新たな共同をひらく	岡	第1講義室
4回	5	19	金	Ⅲ	対人援助とコミュニケーション	長野	第1講義室
5回	5	26	金	Ⅱ	生と死に向き合う	山口	第1講義室
6回	6	2	金	Ⅲ	「かっちえて」という場と子どもたち	片山(健) 片山(薫)	第1講義室
7回	6	9	金	Ⅱ	「手つなぐ」と私たちの新たな働き方	片山(健) 片山(薫)	第1講義室
8回	6	9	金	Ⅲ	今期のまとめ 一個々の暮らしとしごとを「つなぐ」知をめざして	岡	第1講義室

年度 2017 学期 前期	曜日・校時 木・Ⅱ－Ⅴ	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064409		
科目ナンバリング・コード	DNMC11051941		
授業科目名/(英語名)	歯科東洋医学/(Oriental Dental Medicine)		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類	総合科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 鮎瀬 卓郎/ ayuse@nagasaki-u.ac.jp / 歯科麻酔学分野教授室/095-819-7714(内 7713)/月～金曜日 17:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	戸田(非常勤講師)、田頭(非常勤講師)、川口(非常勤講師)、吉田(産婦人科)、藤山、岡元、松島(医療教育開発センター)、亀山(非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ			
東洋医学の知識は歯科領域において今後発展性の期待できる分野である。この講義では、東洋医学の基礎理論から臨床応用まで幅広く学習する。			
授業到達目標			
東洋医学の基礎知識と歯科臨床への応用を修得する。以下の点を重視する。 1.東洋医学体系の基礎理論を説明できる。 2.鍼のメカニズムと臨床応用を説明できる。 3.漢方薬の基礎知識と処方を説明できる。 4.代替医学の応用を実践できる。			
授業方法(学習指導法)			
輪講形式。スライド、ビデオ等を用いて講義する。必要に応じて実地学習を取り入れる。プリント等は必要な時に配布する。経路、経穴名、それらの機能等の記憶項目に関しては小テスト等を行い、学習効果を向上させる。			
授業内容			
1回目 4月13日 Ⅱ校時目:歯科東洋医学総論(陰陽五行) 戸田 2回目 4月13日 Ⅲ校時目:鍼鎮痛のメカニズム 戸田 3回目 4月20日 Ⅱ校時目:鍼灸の実際 田頭 4回目 4月27日 Ⅳ校時目:歯科での鍼治療の応用例 田頭 5回目 5月11日 Ⅱ校時目:神科臨床と漢方 川口 6回目 5月18日 Ⅲ校時目:医科領域の漢方治療の実際(婦人科領域) 吉田 7回目 5月25日 Ⅳ校時目:欧米、WHOにおける東洋医学(仮題) 未定 8回目 6月1日 Ⅱ校時目:耳鍼法 戸田 9回目 6月1日 Ⅲ校時目:アロマセラピー 戸田、藤山 10回目 6月15日 Ⅳ校時目:歯科漢方処方 岡元 11回目 6月22日 Ⅱ校時目:漢方薬理、本草 岡元 12回目 6月29日 Ⅲ校時目:難治性疼痛への東洋医学の応用(仮題) 未定 13回目 7月6日 Ⅳ校時目:一般外来・消化器内科外来での使用の実際 松島 14回目 7月13日 Ⅲ校時目:補完代替医学 亀山 15回目 7月20日 Ⅳ校時目:未定			
キーワード	東洋医学、伝統医学、代替医学、鍼、灸、漢方薬、食養、アロマセラピー、EBM		
教科書・教材・参考書	教科書:入門歯科東洋医学、口腔保健協会、日本歯科東洋医学会編 参考書:中国医学はいかにつくられたか 岩波新書 山田慶児著 世界伝統医学大全 平凡社 津谷喜一郎著 鍼のエビデンス 医道の日本社 津谷喜一郎著 東洋医学を学ぶひとのために、医学書院、山村秀夫他 著 臨床経穴図 医道の日本社 木下晴都著		
成績評価の方法・基準等	筆記試験により評価する。定期考査 100%		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	Ⅱ－Ⅴの連続講義もあり。東洋医学関係の一般書に目を通しておくことが望ましい。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	13	木	II	歯科東洋医学総論(陰陽五行)	戸田	第1講義室
2回	4	13	木	III	鍼鎮痛のメカニズム	戸田	第1講義室
3回	4	20	木	II	鍼灸の実際	田頭	第1講義室
4回	4	27	木	IV	歯科での鍼治療の応用例	田頭	第1講義室
5回	5	11	木	II	精神科臨床と漢方	川口	第1講義室
6回	5	18	木	III	医科領域の漢方治療の実際(婦人科領域)	吉田	第1講義室
7回	5	25	木	IV	欧米、WHOにおける東洋医学(仮題)	未定	第1講義室
8回	6	1	木	II	耳鍼法	戸田	第1講義室
9回	6	1	木	III	アロマセラピー	戸田 藤山	第1講義室
10回	6	15	木	IV	歯科漢方処方	岡元	第1講義室
11回	6	22	木	II	漢方薬理、本草	岡元	第1講義室
12回	6	29	木	III	難治性疼痛への東洋医学の応用(仮題)	未定	第1講義室
13回	7	6	木	IV	一般外来・消化器内科外来での使用の実際	松島	第1講義室
14回	7	13	木	III	補完代替医学	亀山	第1講義室
15回	7	20	木	IV	未定	未定	第1講義室

年度 2017 学期 前期	曜日・校時 木・Ⅲ or Ⅳ	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064417		
科目ナンバリング・コード	DNGD11031098		
授業科目名/(英語名)	Scientific and Practical English		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/授業後に当日の担当者に質問すること。			
担当教員(オムニバス科目等)	David Atwood (非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ			
本科目で学ぶのは、英語のリテラシーである。専門知識を学習するうえで不可欠な基礎的語学力を自己点検する。その上で、基本的な英語のリテラシーを学ぶ。			
授業到達目標			
国際化に対応した歯科医師養成を目指す。			
授業方法(学習指導法)			
3年次に再受験が必須の TOEIC 試験について、試験内容の概要説明や試験対策(Listening and Reading)を行う。			
授業内容			
1回目 TOEIC試験内容の概要			
2回目 TOEIC対策①			
3回目 TOEIC対策②			
4回目 TOEIC対策③			
5回目 TOEIC対策④			
6回目 TOEIC対策⑤			
7回目 TOEIC対策⑥			
8回目 TOEIC対策⑦			
9回目 TOEIC対策⑧			
10回目 TOEIC対策⑨			
11回目 TOEIC対策⑩			
12回目 TOEIC対策⑪			
13回目 TOEIC対策⑫			
14回目 TOEIC対策⑬			
15回目 TOEIC対策⑭(アンケートなど)			
キーワード	実践英語		
教科書・教材・参考書	TOEIC 新公式問題集3, 4, 5, 6		
成績評価の方法・基準等	TOIEC本試験にて評価する。		
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。		
備考(学生へのメッセージ)	TOEIC 対策は Web Class と併用したハイブリッド型クラスとする。各自課題など期限までに On-line で提出を済ませること。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	6	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
2回	4	13	木	IV	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
3回	4	20	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
4回	4	27	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
5回	5	11	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
6回	5	18	木	IV	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
7回	5	25	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
8回	6	1	木	IV	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
9回	6	8	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
10回	6	15	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
11回	6	22	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
12回	6	29	木	IV	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
13回	7	6	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
14回	7	13	木	IV	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
15回	7	20	木	III	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室

年度 2017 学期 前期 2Q	曜日・校時 1 年次/火・I～II	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064418		
科目ナンバリング・コード	DNGD11071098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー I / (Competence for Dentist I)		
対象年次 1 年次	講義形態 講義形式	教室 第 2 講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	未定		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で講義、実習を積み重ねて行く。			
授業到達目標 1 プロフェッショナリズム 人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道(みち)を極めていく。 2 医学知識と問題対応能力 発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身につけ、根拠に基づいた医療(EBM)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-1-1) 医の倫理と生命倫理 1 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等を概説できる。 3 臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 1 歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 2 患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 3 医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる 4 歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、行政処分)を説明できる。 5 患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。 A-2-2) 学修の在り方 1 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 2 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 3 実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。			
キーワード	倫理, プロフェッショナリズム, 歯科医師		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	13	火	I	学修のあり方 入門（基本的態度, 実習心得など）	藤原	第2講義室
2回	6	13	火	II	学修のあり方 入門（レポートの書き方, プレゼンのやり方）	藤原	第2講義室
3回	6	20	火	I	歯科医師としての責務と裁量（プロフェッショナリズム）	角	第2講義室
4回	6	20	火	II	歯科医師としての責務と裁量（プロフェッショナリズム）	角	第2講義室
5回	6	27	火	I	医と生命倫理1	未定	第2講義室
6回	6	27	火	II	医と生命倫理1	未定	第2講義室
7回	7	4	火	I	医と生命倫理2	平田	第2講義室
8回	7	4	火	II	医と生命倫理2	平田	第2講義室

年度 2017 学期 前期 1Q	曜日・校時 2 年次/水・IV	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064419		
科目ナンバリング・コード	DNGD11081098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー II / (Competence for Dentist II)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義形式	教室 第 2 講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内 7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。		
担当教員(オムニバ ス科目等)			
授業の概要及び位置づけ	歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる		
授業到達目標	A-1 プロフェッショナリズム A-6 医療の質と安全管理 患者および医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。		
授業方法(学習指導法)	講義, グループ討議, 実習(見学)など		
A-1-2) 患者中心の視点	1 患者の権利を説明できる。 2 患者の自己決定権を説明できる。 3 患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 4 インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。		
A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権	2 患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 3 医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる。 4 歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、行政処分)を説明できる。		
A-6-1) 安全性の確保	1 医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)を説明できる。 2 医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 3 医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。 4 医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。 5 医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。 8 歯科医療における事故の具体例を列举できる。		
キーワード	インフォームド・コンセント, 医療安全, 医療事故		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	IV	患者中心の視点とインフォームドコンセント	未定	講義室6B
2回	4	12	水	IV	臨床倫理	未定	第2講義室
3回	4	19	水	IV	医療安全 1	藤原他	第2講義室
4回	4	26	水	IV	医療安全 2	藤原他	第2講義室
5回	5	10	水	IV	医療安全 3	藤原他	第2講義室
6回	5	17	水	IV	医療安全 4	藤原他	第2講義室
7回	5	24	水	IV	医療安全 5	藤原他	第2講義室
8回	5	31	水	IV	まとめ	藤原他	第2講義室

年度 2017 学期 前期 2Q	曜日・校時 3 年次/水・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064420		
科目ナンバリング・コード	DNGD11091098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシーⅢ/(Competence for Dentist III)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	未定		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-2 医学知識と問題対応能力 歯科医学・歯科医療に関連する情報を重要性和必要性にしたがって客観的・批判的に統合整理する基本的能力(知識、技能、態度・行動)を身につける。 A-8 科学的探究 医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考も身につけながら、学術・研究活動に関与する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
学修目標: A-2-2) 学習の在り方 1 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 2 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 3 実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) 1 生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 2 臨床上の疑問(Clinical Question <CQ>)を定式化できる。 3 患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。			
キーワード	学術論文, EMB, 臨床研究, Clinical Question		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

旧 Scientific and Practical English から移行

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	I	科学論文入門, 論文抄読の解説	未定	講義室6A
2回	4	12	水	I	科学論文の検索法	未定	講義室6A
3回	4	19	水	I	科学論文の意義	未定	講義室6A
4回	4	26	水	I	臨床研究とEBM	未定	講義室6A
5回	5	10	水	I	歯科基礎論文抄読1	未定	講義室6A
6回	5	17	水	I	歯科基礎論文抄読2	未定	講義室6A
7回	5	24	水	I	歯科臨床論文抄読1	未定	講義室6A
8回	5	31	水	I	歯科臨床論文抄読2	未定	講義室6A

年度 2017 学期 前期 1Q	曜日・校時 4 年次/木・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064421		
科目ナンバリング・コード	DNGD11101098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシーIV/(Competence for Dentist IV)		
対象年次 4 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	未定		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ④から⑥ 医療、歯科医療および医学・歯学研究における倫理を遵守するために、その重要性を理解し、医療倫理に関する知識を身につける。(研究倫理を中心に) A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防 医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)が発生した場合の対処方法と予防策を身につける。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-1-1) 医の倫理と生命倫理 4 医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 5 情報倫理に関わる問題を説明できる。 6 研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。 A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防 1 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 2 医療事故調査制度を説明できる。 3 医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録、報告について説明できる。 4 医療上の事故等に対する具体的な防止対策や信頼性設計を説明できる。 5 医療上の事故等の事例の原因を分析し、防止対策を立案できる。 6 信頼性設計をはじめとする基本的な安全対策手法を概説できる。 7 薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)に配慮した適切な抗菌薬使用ができる。 8 歯科医療における事故の具体例を列挙できる。 A-6-3) 医療従事者の健康と安全 1 医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる 2 標準予防策を説明できる。 3 感染経路別予防策を説明できる。 4 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。 5 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。			
キーワード	研究倫理, 情報倫理, 個人情報, 医療事故, 院内感染, スタンダードプリコーション		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	6	木	I	研究倫理と情報倫理	住田	講義室6A
2回	4	13	木	I	研究倫理と情報倫理	住田	講義室6A
3回	4	20	木	I	院内感染とその対策	未定	講義室6A
4回	4	27	木	I	院内感染とその対策	未定	講義室6A
5回	5	11	木	I	院内感染とその対策	未定	講義室6A
6回	5	18	木	I	院内感染とその対策(職業感染対策)	未定	講義室6A
7回	5	25	木	I	院内感染とその対策(事例検討)	未定	講義室6A
8回	6	1	木	I	医療における個人情報管理	未定	講義室6A

年度 2017 学期 後期 3Q	曜日・校時 5 年次/火・V	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064422		
科目ナンバリング・コード	DNGD11111098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー V/(Competence for Dentist V)		
対象年次 5 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)			
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 A-5 チーム医療の実践 A-7 社会における医療の実践 医療人として求められる社会的役割を担い、地域社会と国際社会に貢献する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-4-2) 患者と歯科医師の関係 1 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 2 患者に分かりやすい言葉で対話できる。 3 患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 4 医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明で 35 きる。 5 患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。 6 患者のプライバシーに配慮できる。 7 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。 A-7-1) 地域医療への貢献 1 地域社会(へき地・離島を含む)における歯科医療の現状について概説できる。 2 医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等)および地域医療構想について説明できる。 3 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 4 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 5 地域における、訪問歯科診療、救急医療および離島・へき地医療の体制を説明できる。 6 災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)について説明できる。 A-7-2) 国際医療への貢献 1 患者の文化的背景を尊重し、異なる言語に対応することができる。 2 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 3 保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。 4 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 5 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みについて説明できる。			
キーワード	離島医療, 地域包括ケア, 災害医療, 臨床研究, EBM		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	10	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
2回	10	17	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
3回	10	24	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
4回	10	31	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
5回	11	7	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
6回	11	14	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
7回	11	21	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
8回	11	28	火	V	まとめ	未定	講義室6A

